

第18回 ひろの童謡まつり

平成24年10月14日、広野町中央体育館で行われた第18回ひろの童謡まつりに参加したJFAアカデミー福島、埼玉県三郷市立瑞木小学校、MJCアンサンブルの方々から参加した感想をいただきました。

JFAアカデミー福島5期生 中学3年 ^{よしだ こうた}吉田 鴻太くん

広野町の皆さん、先日は僕たちJFAアカデミー福島を「ひろの童謡まつり」に参加させていただきありがとうございました。

あの3月11日以来、久しぶりに広野町の皆さんとお会いできてとても嬉しかったです。

広野町を訪れてみて震災前より少し静かになって寂しく感じるところもありましたが、広野町の皆さんの温かさに触れることができ、感動しました。

僕らが歌った「空も飛べるはず」には、僕たちが元気で生活しているということと、1年間広野町でお世話になった感謝の気持ちを込めました。

また、広野町の皆さんの歌声を聴き、第二の故郷（ふるさと）に帰って来られたという気持ちで胸がいっぱいになりました。

僕は広野町が大好きです！離れていても心は一つです!!



歌声を披露する吉田くん（右から4人目）



^{ささき あやの}三郷市立瑞木小学校6年 佐々木 彩乃さん

私は今回、「ひろの童謡まつり」に参加することができ、とてもよい経験ができたと思います。こんな機会をいただいて、広野町のみなさんに心からお礼を言いたいです。

練習では、歌詞をまちがえないようにしたり、大きな声で歌うことを心がけてきました。本番では、練習のときと立つ位置が変わったり、目の前にとてもたくさんの方がいたりして、かなり緊張しました。でも、自分としてはうまく歌えたと思って、満足しています。5年生の時、瑞木小で一緒だった広野町の友達にも会って、とてもうれしかったです。

会場に集まった多くの広野町のみなさんに、私たちの応援の気持ちを届けられたとしたら、とてもうれしいです。そして今、広野町のみなさんが、笑顔でいてくれることを、心から願っています。

MJCアンサンブル 高校2年 ^{すずき まゆこ}鈴木 真由子さん

今回初めて「ひろの童謡まつり」に参加させて頂きました。少ない人数の中、果たして歌って良いものなのか。聴いてくださるみなさんに失礼なのではないかと考えることもありましたが、しかし、いざ本番になって歌ってみたら全然そんなことはありませんでした。広野のみなさんはとても温かく、歌っていて安心感を感じたからです。演奏が終わった後、聴いてもらった人たちから「良かったよ」「これからも頑張るね」などのたくさんの励みの言葉を貰いました。改めて「ひろの童謡まつり」に出て良かったと思いました。広野は同じ福島県で、まだまだ大変な時期が続くと思います。これからも何らかの形で復興支援が出来るならば、是非支援をしたいです。このような機会を与えて頂きありがとうございました。



歌声を披露する鈴木さん（左から3人目）

Hirono Town Public Information



編集・発行/広野町役場総務課企画グループ
☎(0240)27-2114

ホームページ <http://www.town.hirono.fukushima.jp>
Eメール kikaku@town.hirono.fukushima.jp

●広野町役場

福島県双葉郡広野町大字下北迫字苗代替35
☎0240-27-2111(代)